

同寺領を安堵せしむ。

【永光寺文書】 鹿島郡

一四三九

能登國洞谷山永光寺之事(願脱カ)、爲祈願寺上者、任先例領掌不可有相違之狀如件。

永祿五

卯月九日

義(龜也) 綱 在判

住持

四月九日。能登守護島山義綱、鹿島郡永光寺領羽咋郡若部保の國衙役以下の催促を停む。

【永光寺文書】 鹿島郡

一四四〇

當寺領能州若部保國衙役正稅檢注之事、任去寬正三年領掌之旨、不可有相違者也。仍狀如件。

永祿五 卯月九日

修理大夫(島山義綱) 在判

永光寺

【永光寺文書】

一四四一

能登國洞谷山永光寺領之事爲祈願寺國衙正稅檢注役

等、寬正三年已來御代々如領掌被成御判候條、可被任先例旨執達如件。

永祿五壬戌卯月九日

英(并上) 教 在判
連(長) 理 在判

永光寺

(寬正三年十一月九日の條參照。)

四月九日。遊佐續光、鹿島郡永光寺に、羽咋郡若部保の給米等を寄進す。

【永光寺文書】 鹿島郡

一四四二

能登國洞谷山永光寺領若部保御給米并折足伍百文雜年貢等之事。

合參石參斗捌升七合五勺 代物五百文者

右彼御給者、代々私領無相違所納在所也。然間爲仁叟道遣禪定門頓證菩提(生)當寺に永代奉寄進所也。於子々孫々聊不可有違亂妨者也。仍而爲後證之狀如件。

永祿五壬戌

卯月九日

美作守(並佐) 續 光 在判

永光寺 參

(天文元年十月十三日の條參照。參石參斗捌升七合五勺は、永正六年七月十四日統忠の二亡靈に對する寄進の半額なり。)

四月九日。遊佐續光、鹿島郡永光寺をして、同寺領羽咋郡若部・本郷兩村百姓の他の被官に屬する者を成敗せしむ。

【永光寺文書】 鹿島郡

一四四三

當寺領若部・本郷兩村之百姓等、若於屬他之被官者、任先例於寺中堅可被加成敗者也。仍如件。

永祿五 卯月九日

續(遊佐) 光 在判

永光寺

【永光寺文書】

一四四四

當寺領若部・本郷兩所之百姓等、若於屬他之被官、任御法度堅從寺中可被加成敗候旨、執達如件。

永祿五 卯月九日

英(并上) 教

永光寺

連(龜) 理

四月十七日。幕府、本願寺に、西郡某知行分能美郡南北白江莊をその料所とし内田出羽守を代官職に當てたることを告ぐ。

【後鑑引古文書】

一四四五

西郡知行分加賀國能美郡南北白江庄・本折村・吉武村・野代庄等事、有子細一圓被成御料所訖。於代官職者、被仰付内田出羽守條、早被存知之、堅可被申付之由所被仰下也。仍執達如件。

永祿五年四月十七日

左衛門尉 在判
散 位 在判

本願寺門跡雜掌

【古蹟文徵】

一四四六

西郡知行分加州五ヶ所之事、有子細被補御料所、御代官職内田出羽守被仰付由被仰出候。此等之趣御申入簡要候。恐々謹言。